

図書紹介 · New Publications

魚類学雑誌
44(1): 61

□ 魚類学一般

The Lancelets: A New Look at Some Old Beasts. —C. Gans, N. Kemp and S. Poss (eds.). 1996. Israel Journal of Zoology, Vol. 42, Supplement. 446 pp. ISSN 0021-2210. 1994年8月にシカゴ大学で開催された第4回国際脊椎動物形態学会のProceedingsに基づいて編集された論文集。ナメクジウオの形態、進化、分類、生態などが扱われている。(KM)

Great White Sharks: The Biology of *Carcharodon carcharias*. —A. P. Klimley and D. G. Ainley. 1996. Academic Press, Inc., London, New York, Tokyo. xi+517 pp. ホホジロザメに関する67人の著者による45論文を収録している。緒言に続き、進化、解剖、生理、行動、生態・分布、個体群生物学、人間との関係の7章に分けられている。ホホジロザメ研究の歴史や保護にも触れた幅広い内容を含んだ本である。(KM)

Guía FAO para la Identificación de Especies para los Fines de la Pesca. Pacífico Centro-Oriental. —W. Fischer, F. Krupp, W. Schneider, C. Sommer, K. E. Carpenter and V. H. Niem. 1995. Vols. I-III. FAO, Rome. 1813 pp. 東部太平洋の海産生物の同定ガイド。説明はスペイン語だが、詳細な線画があるので、スペイン語が読めなくても役に立つ。第1巻には海藻、貝類、頭足類、甲殻類が収録されている。魚類は第2巻と第3巻に収録され、第3巻の末尾にはウミガメや鯨類・鯨脚類も含まれている。従来の同定ガイドはバインダー形式であったが、今回から製本されて出版されている。(KM)

FAO Species Identification Field Guide for Fishery Purposes. Fishes of the Cambodian Mekong. —W. J. Rainboth. 1996. FAO, Rome. 265 pp., 27 col. pls. ISBN 92-5-106743-4. 東南アジアの淡水魚類の同定は困難をとまなう。適切な同定ガイドが存在しないからである。本書はカンボジアのメコン水系に出現する淡水魚類500種を扱っている。各種について、識別形質付きの詳細な線画と生息場所、食性などの情報が与えられている。東南アジアの淡水魚類を研究する人には必携の書。部数に限りがあるので、入手希望者は早めにFAOに連絡をとること。(KM)

Pike: Biology and Exploitation. —J. F. Craig (ed.). Chap-

man & Hall, London, New York, Tokyo. 298 pp. ISBN 0 412 42960 8. カワカマス類に関する論文集。分類、分布、生活史、生態、漁業などに関して9論文を収録している。(KM)

Electric Fishes: History and Behavior. —P. Moller. 1995. Chapman & Hall, London, New York, Tokyo. 298 pp. ISBN 0 412 373807. 発電魚研究の歴史、発電魚の行動(強発電魚と弱発電魚)、発電器官の組織学的研究、発電魚の分類など発電魚に関するあらゆる情報を集めた本。(KM)

□ 生態学

魚類の繁殖戦略 2. —桑村哲生・中嶋康裕(編). 1997. 海遊舎, 東京. 198 pp. ISBN4-905930-72-3, 2215円(税込)。先に刊行された第1巻の続編であり、多くは魚類行動生態学の若手研究者によって執筆されている。1) 雌雄同体の進化(中嶋康裕)、2) ハレム魚類の性転換戦略—アカハラヤッコを中心に(坂井陽一)、3) チョウチョウウオ類の多くは、なぜ一夫一妻なのか(藪田慎司)、4) アミメハギの雌はどのようにして雄を選ぶか(赤川 泉)、5) シクリッドの子育て—母性の由来(桑村哲生)、6) ムギツクの托卵戦略(馬場玲子)の6章からなる。(AG)

金沢城のヒキガエル. —奥野良之助. 1995. どうぶつ社, 東京. 242 pp. ISBN4-88622-285-4. 2200円(税込)。石川県の金沢城に生息するニホンヒキガエルを個体識別—再捕法により、9年間にわたって追跡調査された資料に基づくナチュラルヒストリー。ヒキガエルの成長・繁殖・移動などの生活史イベント、「なわばりも順位もない」社会のほか、著者の経歴や独特の生物観、および思想がエッセイ風に記されている。(AG)

□ その他

Baseline Studies of Biodiversity: The Fish Resources of Western Indonesia. —D. Pauly and P. Martosubroto. 1996. ICLARM Stud. Rev. 321 pp. ISSN 0115-4389; ISBN 971-8709-48-7. インドネシア西部の漁業対象魚種に関する論文集。ICLARM (International Center for Living Aquatic Resources Management) はドイツから財政援助を受けている団体で、フィリピンにある。住所はMCPO Box 2631, 0718 Makati City, Philippines. (KM)